

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX 049-227-3068 ホームページ <https://hatoyama.info/>

8月・9月の活動予定

■かわせみハウス前で「暑気払い」8月3日(日)



かわせみハウスを共同運営している鳩山ニュータウン住民自治会の主催で、「暑気払い」があります。建物の前にテントを張り、持ち寄った差入れや飲物を味わいながらの楽しい一夜を過ごそうという趣向です。当団体も、5月のバザーで好評だった「ハト麦パンケーキ」やハーブドリンクなどを出します。日頃から環境フォーラムの活動に協力いただいている方々との親交を深める格好の機会です。皆さんもぜひお越しください。

■田んぼビオトープの作業日程計画が決定 7月20日(日)

2025年度(サシバに配慮し、農立ち後の9月中頃から営巣前の翌2月までの作業とする)

作業日	作業内容	
9月 13日(土)	草刈り&伐根	手刈り手抜き
10月 11日(土)	草刈り&伐根	手刈り手抜き
11月 8日(土)	通水設備造成(管通し)	
12月 13日(土)	通水設備造成(水張り)	
1月 10日(土)	カエル脱出装置設置	
2月 14日(土)	予備日	
7月か8月	未定 草刈り及び外来種抜き	手狩り手抜き(大人数不可)

※環境省サシバ保護の進め方参照

7月定例理事会で、石場沼下の谷津にある休耕田のビオトープづくり作業日程が決まりました。9月にはビオトープ予定地で、遺伝子分析による野鳥等の生きもの調査のためのサンプル採取もする予定です。ご協力をお願いします。

8月・9月 活動スケジュール

- 8月 1日(金) 午前9時～ ハト麦作業
2日(土) 午後1時半～saitamaナショナル・トラスト市民シンポに参加
3日(日) 午前8時～ 資源回収
5日(火) 午前9時～ ハト麦作業
10日(日) 午後1時～ 会員懇談会
17日(日) 午前8時半～ 観察会
// 午後1時半～ 理事会
24日(日) 午後4時半～生きもの観察会
9月 5日(金) 午前9時～ ハト麦作業
7日(日) 午前8時半～ 資源回収
13日(土) 午前10時～ ビオトープ草刈り・伐根
14日(日) 午前9時～ 越辺川アユ捕りイベント
21日(日) 午前8時半～ 観察会
// 午後1時半～ 理事会

■熊井の森/生きもの観察会 8月24日(日)

熊井の森/いきもの観察会

夜は...黒い目のカマキリを見つけてみない!?
眠っているトンボに出会ったり、
飛んでるコウモリの声も聴けるよ!

夏休みの夕方、熊井の森で生き物に出会い、
楽しい思い出をつくろう!

＜定員＞30人
対象: 主に市内の小・中学生(妻・保護者同伴) / 高校生 / 大人
＜申し込み方法＞
事前予約 (詳細は当日連絡のため)
＜参加費＞
大人・高校生 1,000 円
小学生 500 円

2025年8月24日(日) ※小雨決行
＜集合時間＞午後4時30分～午後7時30分
＜集合場所＞上熊井集落センター(鳩山町熊井1185-1)
ちよくまの先 黒石神社の入り口
＜観察場所＞上熊井集落センターから「熊井の森」のビザカ至る小道と、
その周辺の辻川の用水路100m
・小学生には当日、「観察記録」台紙を配布します。夏休みの宿題として活用を!
・つかまえた虫の持ち帰りはできません。

＜主幹＞NPO法人はとやま環境フォーラム/熊井の森トラスト基金
＜後援＞鳩山町教育委員会
＜申込先＞TEL 049-227-3001 (留守電あり) / 090-6305-3302 (金銭担当・派生)
メール hatoyama3001@gmail.com
★この事業は公益財団法人サイサン環境保全基金の助成を受けています。

＜講師＞
三森典彰氏
1977年東京生まれ。早稲
大学・環境デザイン学
部(現・環境デザイン学
部)卒業。1998年、
東京環境工科大学に
勤務。2018年、
DUTY GORN LEADERS
AWARD 優秀賞受賞

当日、上熊井集落センター駐車場を使えるよう予約しました。夕方から夜にかけての生きものたちに出会え、三森先生の絶妙な解説が聴けるまたとない機会です。参加をお待ちしています。

■ハト麦栽培の作業へのご協力を

ハト麦栽培の畑作業はこれから夏から秋に向けて、草取り、水やり、竹の切り出し、ハザギの組み立てと作業はいろいろあります。作業日は「毎月第1金曜日の午前9時からお昼まで」と、定例化しています。8月は1日(金)のほかに、臨時に8月5日(火)の午前中も作業をしますが、基本的に作業日は定例化しますので、よろしくお願いします。なお、週末なら手伝えるという方はご一報ください。

7月の活動報告

■「ハト麦を救え」で水やり、草取り 7月11日(金)



6月30日、7月1日、7日、11日と水やり。11日にはポットで育ててあったハト麦の最後の苗の植付けをして、畝の周りの草刈りもしました。これでハト麦は130本ほどになりましたが、去年の半分ほどです。自生したハト麦は1m近くに育っています。でも、直播きしたものは育ちが遅く10cmほど。昨年と同じ時期に種蒔をしたのですが、温暖化で温度が上がっていたのが原因かも。ハト麦、頑張れ！（嗟峨）

■共同菜園でイノシシ被害 7月16日(水)



LINEグループ「会員広場」にこもればファームでの活動仲間の浅野さんから「共同菜園（ちょっくまの上）の上の段のさつまいもがイノシシ？、シカ？に掘り起こされてました。10株位は生きてます。後日ネットは張りたいと思いますが、イノシシなら裾を持ち上げて入るからもたないかも。一応竹とブロックで留めてはみますけど」と情報投稿がありました。井田さんからも

「協生農場のトウモロコシも全部やられました」と。ついに来たか、です。協生農場での被害はこれまでもありましたが、共同菜園での被害は初めてです。浅野さんには感謝感謝ですが、完全な対応策を取るとなると、作業も費用も結構かかります。さあ、どうするか。

■「水辺の広場」管理を当団体に、要望書 7月12日

令和8年度施工「水辺の広場」（ちょっくま横の辻川の対岸の広場）整備に係わる舗装材の再検討について、町は地元と議会には、広場にゴムチップを舗装材として使う計画で説明済みでしたが、その後、町議会で「ゴムチップの安全性について疑義（マイクロチップ、金属成分、化学物質の流出ほか）」があり、町は「ゴムチップと代替品とをしっかりと比較し、何がふさわしい材料か検討し進めたい。比較検討にあたり、地域で活動する団体等の意見も参考にしたい」との意向で、7月9日に町と4者協議がありました。そして、協議内容を当団体の理事会に報告し対応を話し合い、7月12日付で「要望書」（水辺の広場の管理引き受け）を作成し、地元の活性化委員会に提出しました。（7月24日、「すでに決定の通り」との主旨の回答書が届きました）

上熊井活性化委員会 小峰洋委員長様

2025年7月12日

NPO 法人はとやま環境フォーラム
代表理事 愛場謙嗣

辻川等整備工事「水辺の広場」整備管理に関する要望書

日頃より、当団体の活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

7月9日に町役場から辻川等整備工事「水辺の広場」の整備管理に係る舗装材の再検討に關しまして、協議要請があり、それに関して当団体に持ち帰り話し合いましたところ、下記の事項を要望させていただくことになりましたので、よろしくご検討の程お願いいたします。

NPO 法人はとやま環境フォーラムは、辻川横の広場をゴムチップ舗装にすることに代わり、ウッドチップを敷き詰めるか、天然芝生にするか、のいずれかになった場合でも、施工後の管理業務を担うことができます。

辻川横の広場を環境負荷の少ない方法で施工することになれば、環境保護団体としては取組むべき課題であり、管理技術と作業要員確保は可能です。また、天然芝生なら、その上で遊びまわったり寝転がったりするのは、子どもたちにとっては都会ではできない貴重な体験となります。そうした安全安心な遊び場が整備されれば、鳩山に足を延ばし、ちょっくまの買い物客を増やすことにもつながるのではないのでしょうか。

もし可能でしたら、役場の事業として、上熊井活性化委員会の下で、辻川横の広場の管理を当団体にやらせていただけますよう要望いたします。

以上

■開始を早め農村公園で写真学校 7月20日(日)



今年度第3回写真学校は鳩山町農村公園で実施しました。参加者は常連と初参加者を含めて13人。猛暑の中での開催であるためいつもより早めの午前8時に集合し、フィールド撮影から始めました。鳩山町農村公園の「ふれあいの森」の林縁部の日陰で暑さ対策をする中での撮影でした。夏の象徴であるニィニィゼミが多くみられ、その抜け殻も多くあり、「ニィニィゼミの抜け殻は泥まみれだが、アブラゼミやくマゼミに泥はついていない。」等の三森さんの昆虫の生態の説明も興味深く、楽しく撮影できました。（瓜生）

7月の活動報告

■青空ピザ窯パーティーでワイワイ 7月27日(日)

■熊井の森の守り神のある「毛呂神社」に奉納 7月19日



今年も、毛呂神社のお祭りに行ってきました。境内の正面には毛呂神社本殿、左側の奥

に熊井の森の守り神を祀ったお社（写真）と、その右側に八坂神社のお社があり、奉納される屋台囃子は鳩山町指定無形民俗文化財で、地元の方々が保存会が組織されています。境内では顔なじみの地元の方々にご挨拶、私達も獅子の練り歩きに加わりました。

お囃子の練習などお祭りに若い世代の参加も少しずつですが増えてきているそうです。



川崎市や浦和市、東京北区などから小さな子供連れ家族など5グループ、個人参加2人で、スタッフを入れて総勢23人でピザづくりを楽しみました。猛暑真ただ中でしたが、木陰だったからか思ったほど暑くは感じない、という声も。予定通りに終わり、片付け後のかわせみハウスでの反省会には、お客さん3グループも寄っていただき、ノンアルで乾杯し冷え冷えの西瓜をみんなで食べて、解散。ご苦労さまでした。



熊井の森の仲間たち

堀内大（ほりうち・ゆたか）です。

さまざまなできごとの関わりあいから紡ぎだされる身体的自己の不思議に魅せられて、免疫研究をなりわいとし、顕微鏡を覗きつつ、さまざまな細胞やタンパクの関わりあいに思いを馳せる日々を過ごしています。

飯能市在住の私が熊井の森との縁に恵まれて、今年でおよそ8年ほどでしょうか。2021年にはナショナル・トラスト全国大会で発表された「熊井の森紹介」の動画の撮影と編集を担当させていただきました（下のQRコードから動画をご覧ください）。

この時の撮影では、ドローンから見晴らかした林冠に心を強く揺さぶられました。生き物と人が関わりあい重ねあった時間、その堆積を見せてもらったような、そんな気がしています。

そして今年の春からは、森のはすれの明るい斜面で畑をはじめることとなりました。



熊井の森の風と土 そこに重なるとしつきに
持ち寄る時間を重ねゆき 芽吹いた苗を植えてゆく

季節とともに変わりゆく 森の葉ずれに包まれながら
育った苗を眺める午後は 森の時間の一つとなって

重ねた時間

重なる時間のかかわりあい

関わりあいが紡ぎだす森

森のはすれの畑から 熊井の森といつまでも

ソーセージからわたあめ？ 蒲の不思議！



「蒲焼」「蒲色」「蒲団」など「蒲」（かま）の文字のついた言葉はいくつかありますが、「蒲」という植物そのものも、私たちの暮らしの中で身近に見かけることができます。

蒲は沼や池を好む植物ですが、

最近では休耕田でもよく見かけるようになりました。夏頃には、緑の波のなかに蒲の穂が一本一本ソーセージのように見えます。晩秋になると、約35万個の種入りの穂が風や鳥などの外部の圧力によってプツッと弾けて、その種に付いている綿毛が一瞬でふわふわのわたあめに変身、実に面白い植物です。

この蒲の穂を集めて陰干ししたものは「蒲黄」という生薬になります。小学生の頃、指に傷ができてしまった時、家族はその綿毛を傷口につけてくれたおかげで、すぐに治りました。当時は不思議に思っていたのですが、調べてみると、中国古代の医学書、例えば、六朝時代の陶弘景注『神農本草経』、唐代の孫思邈著『備急千金要方』には、蒲黄が止血や切り傷に効くとの記載があります。日本の神話「因幡の白兔」の物語を知った時にも、先人たちの知恵に感服してしまいました。また、蒲の葉で編んだ「蒲席」（蒲ムシロ）や蒲の綿毛を詰めた「蒲団」は古い時代から寝具として人々の暮らしの中で大活躍していました。

蒲の花言葉は救護・慈愛・無差別であり、これらの花言葉は蒲の実用性から生まれてきたのかもしれませんが。野生の植物ですが、もしどこかで出会ったらぜひ愛でてあげてください。（王 菲）

森の中へ

自然にふれ、生きものから学ぶ月例散策便り 17

アナグマ親子とタヌキ家族の同居はいつまで続く



今月の自動撮影装置にはどんなタヌキ親子の姿が映っているのか。データを回収して確認してみると、6月中はタヌキの家族が頻繁に写っていたのですが、7月に入ると頻度が減り、代わりにアナグマの親子が写り始めていました。

山の尾根の方からやってきた3頭の群れなのですが、お母さんと子ども2頭の大きさはさほど変わらず、どうにも子ども2頭の動きがせわしくなく、若い個体であることが見て取れます（写真の右端がお母さん、後ろ2頭が子どもと予想）。タヌキの巣穴の付近に数日居ついているようですが先住のタヌキ家族との関係はどうなのでしょう。

前回のコラムにも載せたようにタヌキとアナグマで同じ巣穴を共用するというような話もあるのですが、それは果たして子育てシーズンであってもそうなのでしょう。子ダヌキはまだまだ小さく、子アナグマと子ダヌキでは2倍以上の体格差がありますので、ケンカにならないためにも巣穴の奥に隠れてやり過ごすつもりでしょうか。それとも引っ越してしまうのか心配ですが、反面どんな関係性なのかも気になります。次回のデータ回収が楽しみです。（愛場 結偉）

活動後記 ■6月29日（日）こもればファームに建てるウッドデッキの設計図が完成。会議を開いて、さあ、いよいよつくるぞ！ ■7月7日（月）鳩山町教育委員会に「熊井の森／生きもの観察会」（後援：教育委員会）のチラシを届ける。ポスターはすでに届け済みで、町内小中学校に張り出しているが、チラシの方は各校長の判断次第とか。小学校の放課後教室との連携のことを含め、来年度に向けて協議することに。 ■7月6日（日）・21日（海の日）HP運営担当者会議。前の会議でまとめた更新案をサーバー管理者に送ったところ早速、更新着手。担当者も自分たちで出来ることはやったので、大分よくなったはず。スタッフのやる気と能力に感服。 ■7月15日（火）環境フォーラムのHPを見て、「当団体の活動の見学に行きたい」という方にかわけみハウスで理事2人で対応。郊外に転居して来ていて、環境保全活動に携わりたいとのこと。こういう方がどんどん現われ、お仲間になっていただければ嬉しい。（ケンジ）

定例観察会のご案内

開催日：毎月第3日曜日
集合場所：かわせみハウス前
集合時間：午前8時半
（終わりは午前10時ごろ）

8月・9月は午前中の実施に変更！

興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。鳩山ニュータウン内かわせみハウス前に8時半に待ち合せて、相乗りで熊井の森に向かい、帰りもご一緒できます。

はとやま環境フォーラムHP➡

